



舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和6年1月31日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」

自ら学ぶ子・人とつながる子

心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子

H P : shinmaizuru-maizuru.edumap.jp



主体的に学ぶ力を



1月24日は朝から雪が降り始め、子どもたちが帰るころには30cmを超える積雪となりました。休み時間になると、子どもたちは外に繰り出し、雪だるまを作ったり雪合戦をしたり、新雪を存分に楽しんでいました。登下校の際には、保護者の皆様や地域の皆様に除雪や見守り等、大変お世話になり、ありがとうございました。

本校では1月19日から25日までを給食週間とし、子どもたちが食事について考えたり、給食に関わる方々への感謝や食べ物を大切にすることについて話し合ったりしてきました。全校集会では、給食委員会の子どもたちが「食レンジャー」の進行で給食や食べ物に関するクイズを出し、全校児童が「よし、当たった。」「へえ、そうだったんだ。」と楽しみながら学んでいました。また、毎日の給食では、児童会本部役員から提案された「給食を残さず食べ、体力をつけてじょうぶな体をつくろう。」の取り組みのもと、苦手なものも少しでも食べようとがんばる子どもたちの姿が見られます。先日も、いつも野菜で苦戦している子どもが「校長先生、3日連続で給食全部食べられました。」と報告してくれました。5年生が総合的な学習の時間にSDGsについて学習を進めていますが、その中で「食品ロスを減らそう」と考えた子どもたちが、調べたことをもとにポスターを作ったり、教室で呼びかけたりする様子も見られます。食事について、食べ物を大切にすることについて、自分ができることを考え、行動に移すことができる子どもたちの姿を応援したいと思います。



子どもたち一人一人にタブレット端末が配備されてから3年。今では、1年生から6年生までがほとんど毎日、授業や係の活動などで使っています。また、今年度は舞GIGAスクールモデル校として、子どもたちの表現活動のためのツールとした活用を進めています。なかよし班手作り遊びに向けて、6年生が手作りおもちゃの作り方や遊び方をまとめたスライドを作ったり、4年生が理科の実験を自分たちでやってみて、実験の様子や分かったことを動画でまとめ、お互いに見せ合って学んだり、各学年で国語の学習で詩や俳句を作り、タブレットを使って工夫して表現したり、ポスターを作るためにタブレット上で試行錯誤しながらよりよい表現を見つけたり、と活用の幅を広げています。学習のゴールとなる課題に向けて、グループで話し合い、タブレットも使いながらいきいきと取り組む姿を見ることができます。このようにして、子どもたちが自分たちで対話をしながら、粘り強く学びを深めていく力を付けていくことが、これからの社会を生き抜いていくことにつながると考え、子どもたちの可能性を教職員一丸となって支えていきます。

保護者の皆様、地域の皆様には、今後とも子どもたちの主体的に学ぶ姿を温かく見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。校長 小森 昌子



※ 今年度2回目のいじめアンケートの結果について別紙でお知らせしています。ご確認くださいませようよろしくお願いいたします。